

# 浦和大里小コミスクだより

令和6年度 第1号 令和6年6月10日

一昨年度から浦和大里小学校は、コミュニティ・スクール（「コミスク」と省略することもあります）となっております。コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置した学校のことをいいます。「学校運営協議会」は、「地域の子どもを地域みんなで育てよう」という理念のもと、地域住民や保護者が学校運営に参画するしくみのことをいいます。



今年度の第1回学校運営協議会が5月23日（木）に行われました。

## ※ これまでの経過 ※

令和3年度の準備委員会では、浦和大里小の子どもたちをどのように育てたいかについて話し合い、「知・徳・体・コミュニケーション・地域を誇りに思う心をはぐくむ」とまとめました。

令和4年度は、その実現のために地域・家庭・学校でそれぞれ何ができるかについて話し合いました。

令和5年度は、学校の運営方針についての承認と5年度の間接報告、目指す子ども像に沿ってそれぞれの立場でできることをまとめた「アクションプラン」の策定、学校評価の報告・学校自己評価システムシートの報告を行い、さらに令和6年度の「学校運営に関する基本的な方針」の仮承認をいただきました。

## <令和6年度 第1回学校運営協議会で話し合われたこと>

校長より「学校運営に関する基本的な方針」の（1）学校経営計画に関すること（2）組織の編制に関すること（3）教育課程に関すること（4）予算の執行に関すること（5）施設設備に関することについて説明を行いました。さらに、生徒指導主任より、いじめの定義確認・いじめ撲滅強化月間の取組・児童の観察の重要性・いじめの対応についての説明の後、生活の見直しをして落ち着いた学校生活を送れるようになったと報告がありました。

その後、委員の皆様から出されたご意見を裏面に載せました。

## 予算の執行について

こんな意見が出ました



校長からの校庭北門近くのヒマラヤスギ・サクラ・ケヤキの木が枯れ気味のため伐採すべきか悩んでいるとの投げかけに対して

- 他校でも樹木の寿命が来て困っている。
- 記念樹でもないので、今の木を伐採して、外構工事の際に新しい樹木を植えてもらう良い機会ではないか。

## 施設設備について

こんな意見が出ました



- プール工事は、6年生にとっては、実際には使えないのでかわいそう。工事責任者に社会人講師になってもらって、講話の機会をつくれないうか。
- それはとても良いと思う。働く姿を教えることはとても良い。
- キャリア教育の一環で、外部とつながることはとても良いので、6年生の総合でやってみたい。

以上の話し合い後、「学校運営に関する基本的な方針」が承認されました。

さらに、「目指す子ども像を実現するための学校・家庭・地域・児童の取組について」3つの班に分かれ熟議を行いました。

こんな意見が出ました



- 地域に関して、「かしこく」の視点では、社協主催で鹿手袋会館で夏休みに3日間学習教室を実施し、のべ80名の参加があった。「たくましく」の視点では、スポーツに親しませるために少年団やラジオ体操のチラシを配付したい。また地域のイベントをもっと盛んにしたい。「アイデンティティ」の視点では、チャレンジスクールでお囃子や盆踊りの指導をしている。また、地域を探検し、名所旧跡について地域の知識人等に指導してもらおうようなイベントをやりたい。
- 家庭として、夏祭りに積極的に参加させたい。地域行事を知っている層と知らない層に分かれてしまっているのので、知ってもらうためにもアピールすることが大事である。
- おやじの会を立ち上げ、父親としても学校や子どもに関わっていきたい。
- 内谷中のボランティアは、生徒会主導でやっているが、ボランティア募集チラシを地域にも配付し、中学校入学前の子にも参加してもらい、学校を知ってもらう機会にできるとよい。